

みずほCustomer Desk Report 2024/12/05号(As of 2024/12/04)
【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示値	149.78
TKY 9:00AM	149.61	1.0510	157.20	1.2677	0.6485		
SYD-NY High	151.23	1.0544	158.63	1.2722	0.6488		
SYD-NY Low	149.53	1.0472	157.05	1.2630	0.6399		
NY 5:00 PM	150.63	1.0509	158.27	1.2701	0.6430		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)		
NY DOW	45,014.04	308.51	日本2年債	0.5800%	▲0.0300%		
NASDAQ	19,735.12	254.21	日本10年債	1.0500%	▲0.0200%		
S&P	6,086.49	36.61	米国2年債	4.1287%	▲0.0518%		
日経平均	39,276.39	27.53	米国5年債	4.0699%	▲0.0419%		
TOPIX	2,740.60	▲12.98	米国10年債	4.1829%	▲0.0426%		
シカゴ日経先物	39,640.00	380.00	独10年債	2.0515%	▲0.0035%		
ロンドンFT	8,335.81	▲23.60	英10年債	4.2470%	0.0050%		
DAX	20,232.14	215.39	豪10年債	4.2560%	▲0.0440%		
ハンセン指数	19,742.46	▲3.86	USDJPY 1M Vol	12.96%	▲0.22%		
上海総合	3,364.65	▲14.16	USDJPY 3M Vol	11.32%	▲0.13%		
NY金	2,676.20	8.30	USDJPY 6M Vol	10.78%	▲0.04%		
WTI	68.54	▲1.40	USDJPY 1M 25RR	▲1.68%	Yen Call Over		
CRB指数	285.35	▲0.62	EURJPY 3M Vol	11.41%	▲0.20%		
ドルインデックス	106.32	▲0.04	EURJPY 6M Vol	10.92%	▲0.15%		

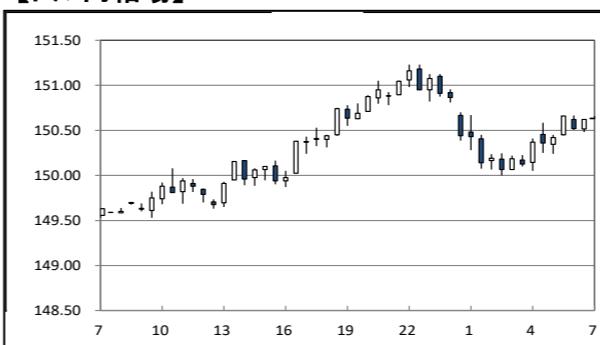
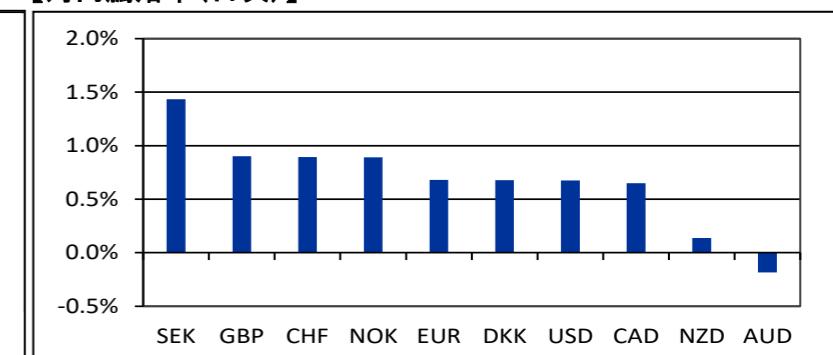
東京	東京時間のドル円は149.61レベルでオープン。ほどなくして149.53をつけるも、一巡後は値を上げる展開。韓国情勢が一旦落ち着き、リスク回避が一服したことや、発端は不明も、日銀の利上げ観測が後退したことによる円金利の低下が円売りのサポートとなり、150.16まで上昇。引けにかけてやや値を下げ、149.94レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ドル円は149.94レベルで始まり、終日上昇を続けロンドンのセッションは151.18レベルで終了した。ドル円の上昇は、昨日発表された米JOLTS指標が予想を上回ったことも要因。強いJOLTSデータは、今週金曜日に発表される10月の非農業部門雇用者数が強まる可能性を示唆している。ユーロドルは1.0515レベルで寄り付いた。11月のユーロ圏総合PMIは予想を上回った。サービス部門PMIは49.5、総合PMIは48.3(予想は48.1)だった。ユーロドルはPMIデータに反応し、1.0483で底を打った。市場は仏下院での内閣不信任案の議論開始を待ちながら1.0491レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は149円台半ばでスタート。米金利の上昇や、日経平均株価が反発する展開を受け、ドル円は底堅く推移し、151.18レベルでNYオープン。午前中に発表された米11月ADP雇用統計と米11月ISM非製造業景況指数ヘッドラインが共に予想を下回った事が嫌気され、上昇していた米金利が低下する動きに追随し、150円ちょうどまで反落。午後はFRBが発表した地区連銀経済報告(ページュック)で、ほとんどの地区で経済活動が若干拡大したとの文言を受け、150.70付近までじりじりと買い戻され、150.63レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.05台前半でスタート。米金利の上昇が重しとなり、じり安で推移し、1.0491レベルでNYオープン。午前中は先述の複数の予想を下回った米経済指標の結果を受け、ドルが売られる中、1.0544まで反発する。午後は仏下院で内閣不信任決議案が可決されたとの速報が伝わると、一転先行きを懸念した売りから1.05台ちょうど付近まで反落し、その後1.0509レベルでクローズ。

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月4日	09:30	豪 GDP(前年比)	3Q 0.8%	1.1%
	18:00	欧 サービス業/コンポジットPMI・確報	11月 49.5/48.3	49.2/48.1
	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	10月 0.4%/-3.2%	0.4%/-3.2%
	22:15	米 ADP雇用統計	11月 146k	150k
	23:00	米 ムサレム・セントルイス連銀総裁 講演	「利下げの減速や休止の検討時期に近い可能性」	
	00:00	米 ISM非製造業景況指数	11月 52.1	55.7
12月5日	00:00	米 製造業受注(前月比/除輸送)	10月 0.2%/0.1%	0.2%/-
	00:00	米 耐久財受注(前月比/除輸送)・確報	10月 0.3%/0.2%	0.2%/0.1%
	03:40	米 パウエルFRB議長 講演	「時間をかけて金利を中立水準に引き下げる道筋にある」	

【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月5日	09:30	豪 貿易収支	10月 A\$4500m	A\$4609m
	16:00	独 製造業受注(前月比)	10月 -2.0%	4.2%
	16:45	仏 製造業生産(前月比/前年比)	10月 -	-0.8%/-0.9%
	19:00	欧 小売売上高(前月比)	10月 -0.3%	0.5%
	22:30	米 貿易収支	10月 -\$75.0b	-\$84.4b
	22:30	米 新規失業保険申請件数	30-Nov 215k	213k

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.80-151.30	1.0450-1.0550	157.50-159.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は韓国における非常戒厳宣言を巡るリスク回避の動きの巻き戻しや12月日銀会合での利上げ観測後退等を背景に151円台まで強含むも、米11月ISM非製造業景況指数が予想を下回ったことで米金利が低下する動きにドル円も150円ちょうど近辺まで反落。その後はパウエルFRB議長が米景気に楽観的な見方を示すとドル円は150円台半ばまで戻して引けた。今月に予定されている日米金融政策決定会合に関する市場のコンセンサスが定まらない中、明日には米雇用統計も控え、本日のドル円は方向感の無い値動きとなりそう。確かに米経済指標は相変わらず良好で、米株も非常に底堅いが、FRBが一度開始した利下げをスキップするという選択肢を取るには、更なるエビデンスと時間が必要となる見込み。12月FOMCでは、やはり最終的に利下げに傾くと思われ、米雇用統計通過後は、ドル円は再び下落に転じていくものと予想。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。